

閉鎖孔ヘルニアの診断を受けた患者さんへ

地方独立行政法人大牟田市立病院では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ先までご連絡ください。
また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本件研究の対象者に該当されると思われる方またはその代理人の方で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。なお、その申し出は研究成果公表前までとなりますのでご了承願います。

研究課題名	閉鎖孔ヘルニアの診断となった症例における閉鎖神経障害の有無について
研究責任者	地方独立行政法人大牟田市立病院 臨床研修医 責任者名：大村谷 美紀
研究の目的と意義	<p>閉鎖孔ヘルニアとは、骨盤前方の骨（坐骨、恥骨）の間の閉鎖孔という穴から、腹部の臓器や組織が外に飛び出してしまう状態のことを指します。</p> <p>今回、下肢痛といった整形外科疾患を疑わせる症状に加え消化器症状を認めた際、CT検査で実は閉鎖孔ヘルニアであったという症例を経験しました。そこで、本研究では、当院で閉鎖孔ヘルニアと診断された症例のうち、下肢痛を認めた症例はどれほどの割合であったかを調査することとしました。</p> <p>また、閉鎖孔ヘルニアは、放っておくと、嵌頓により腸管壊死を起し、命に関わることもあるため、早くみつけて治療をすることが大切です。今回の研究によって、迅速な診断・治療ができるようになれば、患者さんの回復や予後の改善につながると考えられます。</p> <p>* この研究は、大牟田市立病院倫理委員会臨床研究専門部会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。</p>
調査データ 該当期間	2019年4月から2025年3月までの情報を調査対象とします
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる方 受診科：地方独立行政法人大牟田市立病院 対象疾患：閉鎖孔ヘルニア</p> <p>●研究の実施期間 病院長の研究実施許可日 から 2026年3月31日まで</p> <p>●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録を利用します 患者基本情報 病歴 既往歴 治療歴 自覚症状 転帰 血液データ 画像データ</p>

<p>情報の保護</p>	<p>研究に関わる関係者は、対象となる患者さんの個人情報およびプライバシーの保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。</p> <p>対象となる患者さんの個人情報は、個人情報が特定できないように加工を行い、その個人情報を復元できる情報（対応表）は、研究責任者が保管します。</p>
<p>外部への情報提供</p>	<p>外部への情報提供は行いません</p>
<p>利益相反</p>	<p>本研究の実施にあたり特定企業との利害関係はありません</p>
<p>試料・情報の提供の辞退に関するお申し出先・お問い合わせ先</p>	<p>地方独立行政法人大牟田市立病院 研究責任者：大村谷 美紀 電話：0944-53-1061（平日 9 時～16 時）</p>
<p>備考・その他</p>	